

|                     |     |     |            |            |                         |
|---------------------|-----|-----|------------|------------|-------------------------|
| 3月度 <b>例会</b> 山行報告書 |     | 報告者 | 館谷         | 参加<br>メンバー | CL:北村、SL:天野<br>西尾、館谷(記) |
| 個人                  |     | 報告日 | 3/15       |            |                         |
| 山域                  | 八ヶ岳 | 山行日 | 2016年3月12日 |            |                         |
| 山名                  | 蓼科山 |     |            |            |                         |

|      |              |                    |
|------|--------------|--------------------|
| 山行目的 | 春山を通して親睦を深める | コースタイム (天候: 天気図記号) |
|------|--------------|--------------------|

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者



3/12(土) 曇り時々晴れ  
05:30 本社 N1 駐発  
09:00 蓼科山登山口駐  
車場着  
09:20 登山口発  
10:20 一本  
10:30 P2113.3  
11:20 一本  
12:00 山頂着  
12:30 山頂発  
13:13 P2113.3  
13:55 登山口着

時折見える青空



十万のカメラを構える北村 CL



急登が続く



山頂にて

〈山行報告〉  
本社 N1 駐車場に集合し、蓼科山登山口(女神茶屋)の駐車場に向かう。助手席で眠る CL を横目に、順調に車を走らせ駐車場に到着するも、満車。予想外の人気に驚きつつ、どうにか車を駐め、登山開始。樹林帯に入ると、想像以上の雪山らしさと好天に期待が高まる。平均年齢 36 歳と若いパーティだけあって、急登と暑さにあえぎながらも快調なペースで登っていく。今回の登山道はほとんどが樹林帯であり、時折開けた場所もあったが、ガスにより眺望はほとんどなかった。樹林帯を抜け岩場に出ると風が強く、ウェアを着込んで山頂へ向かい、登頂。山頂(2530m)の気温は-10℃ほどで、流石に冷え込んでいた。真上は時折ガスが晴れるが、周囲は何も見えず、南に延びる八ヶ岳の峰々はお預け。蓼科山頂ヒュッテの陰で風をしのぎながら休んだのち、下山。クランポンを着けず、キックステップで下りていたが、途中から前方に付いた跡につられてシリセードに。童心に返りながら、ただただ滑り下りていく。中でも天野 SL は特に楽しそうであった。(右下写真参照) あっという間に下山し、尖石温泉 縄文の湯で汗を流し、

帰路に着いた。  
稀に見る暖冬であり、この時期の雪には期待していなかったが、思いの外楽しく、雪とふれあえる山行となった。例会ながら 4 人と少ない参加者であったのは残念だが、少人数でよりいっそう親睦を深められたと思う。



確認  
(リーダー)  
北村

160316

作成  
(報告者)



〈リーダー所見〉 予想以上に雪があり、冬山を満喫することが出来た。途中危険な箇所も特になく、無事に山行を終えた。樹林帯を抜けた後に防寒着を再度着たが、本来樹林帯を抜ける前にしっかり防寒するべきであったと思う。ともあれ実に楽しい山行だった。山行を支えてくれた他のメンバーに感謝したい。

